



知っておきたい爪の知識と病気 すべての疑問を解決します！

■著：東 禹彦

評者 齋藤昌孝

慶應義塾大学医学部皮膚科

爪は私たちが快適な日常生活を送るうえでの必需品である。しかし皮肉なことに、私たちが爪の大切さを実感するのは、たいてい爪に病気やトラブルが生じたときである。爪には多くの役割と機能があるにもかかわらず、普段それらを意識することなく暮らしている人が多いのではなかろうか。爪白癬に代表される感染症や爪乾癬などの炎症性疾患のターゲットとなるだけでなく、良性あるいは悪性腫瘍の発生母地にもなり、さらに足の爪であれば靴などによる機械的外力に慢性的にさらされて変形するなど、爪には多くの病気やトラブルが発生する。また、全身疾患の影響で爪に変化が現れることも少なくない。

本書は、皮膚科医として60年近くにわたって爪疾患の診療に熱心に取り組まれ、日本では爪のレジェンドとして名高い著者が、その該博な知識と長年の経験に基づいて、爪の構造や役割といった基礎知識から爪に生じるさまざまな病気やトラブルまで、一般向けにわかりやすく書き下ろしたものである。爪に生じた横溝や縦裂の原因が著者の鋭い観察力および洞察力によって明らかとなり、治療も奏効したというエピソードからは、著者の探究心の深さがしみじみと伝わってくる。また、高齢者に多い爪甲鉤彎症については、爪が著しく変形する原因や病態がわかりやすく解説されており、加齢に伴う骨・関節の変形や、靴などから受ける外力が足の爪をしばしば変形させること、したがって、靴の選び方や履き方から爪の切り方といったフットケアがいかに重要であるかについても詳

しく述べられている。本書のなかには、そのサブタイトルにもあるように、爪に関するすべての疑問を解決してくれる内容が詰まっている。爪半月がなぜ白いのか、「爪」という字にまつわる話、さらにはマニキュアの歴史まで、身近な話も織り交ぜられていることから、非常に楽しく、そして興味深く読み進めることができる。一般向けとはいえ、爪疾患の診療に苦手意識をもつ皮膚科医にも、爪について網羅的に学ぶことのできる入門書として、本書を一読することをおすすめしたい。



A5判・152頁

定価：3,080円（本体価格2,800円＋税10%）

ISBN：978-4-307-40060-2

金原出版 刊・2022年5月発行